

あけましておめでとうございます！今年もフリース舞鶴をよろしくお願いいたします。

INTERVIEW

これまで「SANKAKU」では、夢や目標に向かって頑張る女性にスポットライトをあてて、その活動の様子や成果をご報告してきました。今回は、**その挑戦を支えた男性**のお話をご紹介します。



奥川 恭平さん

妻のちはるさんにも同席いただきました。

奥川家は、広島県呉市出身の恭平さん・ちはるさんご夫妻と、4歳の息子さん、2歳の双子の娘さんの5人家族。現在、第八管区海上保安本部で警備課長をされている夫の恭平さんは、ご自身のお仕事について、「祖父は警察官、父は消防士という環境で育ち、自分にもそういった仕事似合っているのではという周囲のすすめもあり、この職に就きました。自身の仕事は、海上で国民の安全・安心を守る仕事。現在はデスクワークで、職場がワークライフバランスを推進していることや、自身が管理職ということもあり、率先して業務改善等に取り組み、できるだけ残業せず、部下が働きやすいように心がけています。」と教えてくださりました。

専業主婦だったちはるさんは、「何かスキルを身につけたい」と考えていたころ、舞鶴市主催の「デジタルマーケティング講座」に出会い講座を受講。今回はこのちはるさんの挑戦から修了までの奥川家の歩みを中心にお話を伺いました。

Q 受講を相談されたとき、率直に何を思いましたか？

恭平さん 「チャンスがあるならチャレンジ！」

どんどんやってほしいと思いました。子育ても大変なときで不安もありましたが、もしダメだったときはやめてもいいから、チャレンジできるチャンスがあるならまずやってみてはどうかと声をかけました。家事育児の負担が増えて嫌だな、などといった気持ちはありませんでした。

Q 妻のサポート体制、どんなふうにな？

恭平さん 「連携プレー。家族はワンチーム。」

半日テレワークしたり、休日は子供を連れて一日出かけたりして、妻が集中して勉強できる時間をつくりました。平日も、帰宅後は連携プレーで効率よく家事育児を済ませて、22時以降を勉強時間にできるようにしました。

当時のルーティン

恭平さん：子供たちに食べさせる
ちはるさん：調理・配膳など



恭平さん：子どもたちと入浴
ちはるさん：片付けやお風呂から上げる準備



恭平さん：子供たち寝かしつけ
ちはるさん：入浴



Q 受講がきっかけで役割分担や工夫をし始めた？

恭平さん 「普段からやっていたから、大人も子供も難なくできた。」

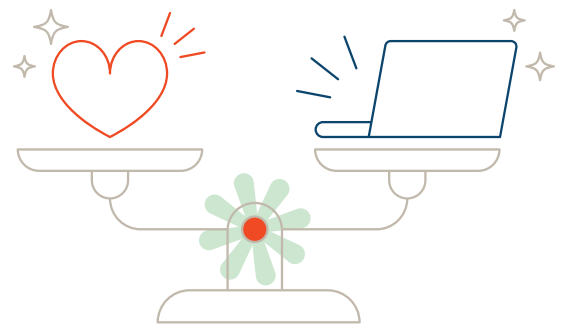
受講が始まったからというよりは、もともととしていたことでした。休日のおでかけも、おむつ替えなど普段からしていたから難なくできたと思います。宮津市や高浜町まである程度車を走らせて、一生懸命体を動かして遊んでもらって、帰りは寝てもらって、みたいな感じでしたね。平日も時間を捻出するため、より効率化しようと日々話して実践しました。

ちはるさん 一日お出かけしてくれると聞いたときも、普段から育児をしてくれているので不安なく夫に託せました。私は子供にご飯を食べさせるのが不得意なので、夫が担ってくれて助かっています。お風呂から寝かしつけもしてくれるので、私はその間に食事の片付けやお風呂から上げる用意ができて、うまく時間が使えました。また、受講の相談をした時もですが、忙しいときでも壁をつくったり後回しにしたりせず、**必ず耳を傾けてくれるので、安心して相談したり、助けてと言うことができます。**

Q テレワークや時間休、職場の反応は？

恭平さん 「職場のチームワークが発揮されました。」

組織としてワークライフバランスを推進していることもあり、上司からは「どんどんとって」と後押しがありましたし、部下も制度を利用しやすくなったように感じます。仕事の特性上、同じ船の上で活動するメンバーとして**助け合いの意識が強いことが強みとして発揮**されていると思いました。



WORK LIFE BALANCE

Q ちはるさんが無事修了したときの気持ちは？

恭平さん 「家族で乗り越えた！」

正直、できないと思いました(笑)でも、年末に、ここまで来たんだから頑張ろう、やり切ろう！と言い続けて、修了できたときは「家族で乗り越えた！」という思いでしたね。

Q 受講後も挑戦し続ける妻をどのように見ている？

恭平さん 「嬉しい。続けてほしい。」

転勤族だからこそ、場所を選ばず活動できるデジタルマーケティングを学ぼうと思ったと思います。これからどうなっていくかは分からないけれど、**社会に出ることを楽しいと感じている**と思うので嬉しく思うし、続けてほしいとも思っています。

Q 今回のチャレンジを経て、家族や夫婦の変化は？

恭平さん 「会話が増えました。子育てもその機会をくれる。」

今まで以上に会話が増えたように思います。転勤族で近くに頼れる親族がいないからこそ、ときには衝突しながらも、会話は絶やさずにやってきました。**日々対話して、お互いにできる努力をして、すり合わせ歩み寄ってきた中で、子供が生まれてからは子育てがまたその機会を**くれていると感じます。



ちはるさん 私がただ聞いてほしくてする話も、すぐ解決策を言ってくれるから、そうじゃなくてただ聞いてほしいと伝えたことも(笑)

恭平さん どうしても解決脳なので...。それだけでいいの？って思いました。
今は聞くように気をつけています。

Q 対話を大切にされているのが印象的でした。

ちはるさん たくさん話した方がいいと思います！私たちは普段からよく話しています。夫を尊敬しているので、迷ったときや悩んだときは相談して、的確なアドバイスをもらったり、背中を押してもらっています。

恭平さん 妻と話すことでリラックスできるので、仕事の話をすることもあります。機密性の高い情報もあるので話せないこともあります。市民感覚を忘れないようにと妻に聞いてみることも。妻も「自分だったらこう感じる、こう思う」など考えながら話してくれ、お互いわきまえながら話せるので安心して話せます。

Q 自身の経験を通して、読者にメッセージを。

恭平さん 社会の小さな単位が家族、もっと小さな単位は自分で、まずそこが幸せに生活できるようにしています。みんなが互いに尊重して生活を楽しんでいくことが人としての幸せ、あり方の原点だと思います。上司に「自分と家族を大切にしていけないといい仕事はできないよ」と言われたこともあり、**自分や家族を大切にできれば、職場や社会でも相手を大事にできる**と思います。



編集後記



奥川さんご夫婦にお話を伺ったのは、「挑戦したいと言える関係」「お互いの目標のために支え合える関係」が素敵だな、と思ったのがきっかけでした。子育てをはじめ、目の前のことを自分事として考え、向き合って、対等な目線で、労いあい、支えあい、尊敬しあうお二人の関係性に感動していました。男女共同参画は、女性・男性いずれか一方の努力で達成されるものでなく、対等な関係の中で、お互いの思いや考えを尊重しあえることで達成されるものだと思ふことができました。**女性も男性も、それぞれ夢を持ち、悔いのない人生を送りたいと願う生身の人間であるということを忘れず、互いに尊重し支え合う社会を築けるよう、これからも取り組みを進めていきます。**奥川さん、ありがとうございました！

INFORMATION

家族で学ぶ包括的性教育「生きる力を育てる講座」

参加費
無料

未来の社会をよりよくするために、性別に関係なくすべての人が尊重され、共に輝ける社会を目指しませんか？この講座では、自分の心と身体についての理解を深め、男女の生物学的・社会的な違いを正しく知ること、偏見をなくし、自身と他者への尊重の心を育む方法を学びます。

日時 **2 / 16 日** 10:30~12:00

定員 **15組** 程度 会場 **フレアス舞鶴 セミナールーム**
(中総合会館5階)

対象 **小学生以上の親子**
その他テーマに興味のある方
※未就学児の参加も可能ですが、小学生以上向けの内容です。

その他 **託児あり**(一週間前までに要予約。子ども一人／300円)
同日午後には、「性別で見る多様性と人権」をテーマに、講演やワークを実施。
こちらも是非ご参加ください。

講師

谷垣 律子さん

あもがね助産院@綾部市



check

フレアス舞鶴のSNSで情報発信しています。

